

東南アジア考古学原稿執筆要項

2001年1月19日

1. 提出原稿のかたち

提出原稿は執筆者各自で以下のようにページレイアウトの設定を行い、プリントアウトしてから提出してください。これまでのようにフロッピーをいただいて編集側でレイアウトすることは止めます。執筆者はB5で印刷された版下用の原稿とそのコピー各1部づつを編集担当までお送りください。

図版についても同様で、図版番号、キャプション、図の説明を硬紙に張りつけた完全完成図版とそのコピー（B5版に縮小されたもの）を編集にお送りください。図版には必ずトレペのカーテンを掛け、天地・縮小率・誰の原稿の何枚めの図版かをカーテン上に赤鉛筆で明記してください。写真図版などB5に縮小できないものは、カーテンに縮小率を明記してください。

また、原稿の形式を統一しますので、フォントや字の大きさ、原稿の順番、文中での引用と註のつけた文献目録の提示のしかたは、以下のようにお願いできますよう、特にご注意願います。以下のように統一されていない原稿・図版は返送します。

2. 原稿の形式

原稿は以下の構成でお願いします。

1. タイトル：和名と英語名
2. 氏名・所属：和名と英語名
3. 要約：和文原稿なら英語要約、英語原稿なら和文要約
4. キーワード
5. 本文
6. 各章番号、項目番号は各原稿内で統一がとれていれば、アラビア数字、ローマ数字、アルファベットいずれを用いても可
7. 謝辞
8. 註
9. 文献目録
10. 図版・表など

3. ページレイアウト（Windowsはページ設定）の設定

Mac, WindowsいずれでもワープロはMS Wordで作成・編集してください。以下、MS Wordでの設定方法を述べます。

ファイルでページレイアウトをひらく→余白を左右上下20mmに設定→Windowsは用紙サイズB5に設定、

Macは用紙設定でB5に設定

次に書式で段落を開く→

論文タイトル、要約、キーワードは間隔の欄の行間を最小値、間隔を12ポに設定

論文タイトルと氏名は中央揃え

本文の行間は最小値、間隔を16ポに設定

謝辞、註、文献目録の行間は最小値、間隔を12ポに設定

以上のように設定を行うと、1ページの文字数の目安はほぼ一行45字の37行となります。

4. フォント

フォントの設定は以下のようにお願いします→

タイトル：和文がOSAKA（MSゴシック）、英文はArialで

本文、謝辞、註、文献目録：和文は平成明朝（MS明朝）、英文はTimes New Roman

但し、本文中の各項目名と謝辞・註・文献目録の文字だけは、和文がOSAKA（MSゴシック）、

英文はArialの太字にする。

5. 文字の大きさは→

タイトル：和文、英文ともに10.5ポ、

要約、キーワードは8ポ

本文は和文・英文ともに9ポ

謝辞・註・文献目録は和文、英文ともに8ポ、

但し、項目名(要約、キーワード、謝辞・註・文献目録などの文字は本文と同じ9ポ。

英字、数字、カッコ、コロンなどはすべて半角。和文の句読点は全角

6. 本文中の文献と註の提示のしかたについて

各自それぞれの癖や慣例があると思いますが、雑誌全体の統一のため、以下のようにお願いします。

和文文献：(小川1998a: 142-178)のように、()のなかに、著者名・刊行年・コロン・半角スペース・ページを入れる
但し、カッコ・英字・数字・コロンは半角。

英文文献：(Ogawa 1998a: 142-178)のように、()のなかに、著者名・刊行年・コロン・半角スペース・ページ数を英
数半角で入れる。但し、著者名と刊行年の間には半角スペースを入れる。

註は、(註15)のように()のなかに、註と番号を入れる。但し、()と番号は半角。

7. 謝辞、註と文献目録のかたち→

これらは本文の後に、謝辞→註→文献目録の順番で提示してください。

謝辞については、謝辞→改行→一字アケで書き始める。

註については、註→改行→註番号→コロン→半角アケで書き始める。

例：

註

1: このような語りは……

但し、番号・コロンは半角。

謝辞、註、文献目録の行間の設定は最小値、間隔12ポに設定

文献目録については、まずタブを5 mmに設定する。

著者名→改行→タブひとつ→西暦刊行年→タブひとつ→雑誌論文・論文集中の論文・著書名。論文名中の改行は先頭に頭を揃える。英字・数字・コロン・カクコは半角。

例

田中和彦

1997a 「カトゥガン貝塚の発掘調査」『東南アジア考古学』17: 210-225

1997b The Kite Photography of Bangag I Shell-midden Site, Lal-lo, Cagayan, Philippines. *Journal of Southeast Asian Archaeology* 17: 197-209.

雑誌論文の場合、論文名「」、雑誌名『』、巻号→コロン→ページ数、英字・数字・カッコ・コロンは半角、コロンのあとには必ず半角のスペースを1字空けてください。

例

小川英文

1996 「採集民ネグリの考古学—共生関係が提起する諸問題—」スチュアート ヘンリ (編)『採集狩猟民の現在』: 183-222、言叢社

単行本掲載雑誌の場合、論文名「」、編集者名(編)→書名『』→コロン→ページ数、出版社名の順

英文文献については、雑誌名・論文集名・書名は斜体字。論文集所収の論文は以下のように提示する。

In Allen, J., J. Golson and R. Jones (eds.) *Sunda and Sahul*: 567-599. New York: Academic Press.

まずIn→編者名→編者が一人の場合(ed.)、複数の場合(eds.)→書名を斜体字→コロン→ページ数→出版社の所在地名→コロン→出版社名

コロンのあとには必ず半角のスペースを1字空けてください。

英文雑誌名も斜体字

編者が複数の場合、一人目はまず苗字を先に出す。二人目は名前から出してください。

英名の場合、名前を頭文字だけ表記するのか、それともすべて表記するのかはおまかせしますが、どちらかに必ず統一して、混在することの内容ようにしてください。

例：雑誌論文の場合；

Headland, T. N. and L. A. Reid

1989 Hunter-gatherers and their neighbor from prehistory to the present. *Current Anthropology* 30: 43-66.

例：単行本の場合；

Peterson, J. T. and W. Peterson

1977 Implications of Contemporary and Prehistoric Exchange Systems. In Allen, J. J. Golson and R. Jones (eds.) *Sunda and Sahul*.: 567-599. New York: Academic Press.

例：単著の場合；

Lee, R. B. and I. De Vore

1968 *Man the Hunter*. Chicago: Aldine.

書名は斜体、出版社所在地名→コロニー→出版社名 コロンのあとには必ず半角のスペースを1字空けてください。

8. 論文のページ数について

各自の論文のページ数は入れないでください。但し、各ページの左下に鉛筆でうすく、ページ数を1から書いてください。図版も同様です。編集時に前後して、印刷されることがありますので。

論文枚数の目安は、図版も含めて30ページです。

9. 図版

図・表などの図版は本文のあとにまとめて提示するように論文全体をレイアウトしてください。やむおえず文中で図表を提示する場合は、筆者自らがあらかじめ組み込み、別途に図版版下を作らないようにしてください。

繰り返しますが、図版には図版番号、キャプション、図の説明、スケール等を硬紙に張りつけた完全完成図版とそのコピー（B5版に縮小されたもの）を編集にお送りください。図版には必ずトレペのカーテンを掛け、天地・縮小率・誰の原稿の何枚めの図版かをカーテン上に赤鉛筆で明記してください。写真図版も同様です。

写真図版はプリントのみを使用し、コピーは受け付けません。また白黒印刷ですので、暗い写真は使用しないで下さい。

10. 送付先；

原稿本文版下用正本1部、割付用1部(B5版)、図版版下用1部、割付用(B5版)1部を以下の住所にお送りください

〒183-8534 府中市朝日町3-11-1 東京外国語大学 小川英文行

なお不明な点は、編集担当小川におたずねください：e-mail: kidlat@tufs.ac.jp

また、以上の要項に則していない原稿・図版が送られてきた場合には、郵送料執筆者負担（宅急便着払い）で返送しますのでご注意ください。

ではなにとぞよろしくお願い申し上げます。